

研究課題名	透析を要する腎後性腎不全症例の特徴・予後に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 腎臓内科 氏名 安藤 亮一
研究期間	(西暦) 2017年 12月 ～ 2018年 6月
研究の意義・目的	腎後性腎不全で透析を要した症例の特徴や予後に関する報告は限定されており、不明の点が少なくない。これらを明らかにすることで、腎後性腎不全の治療反応性や予後予測に役立て、診療レベルの向上、患者へのインフォームドコンセントの充実につなげる
研究の方法 (対象期間含む)	2003年1月から2017年10月までに当院で腎後性腎不全で透析を要した症例を診療録から、初診時所見、透析に至るまでの経過、透析の条件や経過、予後を検討し、その特徴や予後予測因子を明らかにする。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)  ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目  ③利用する者の範囲  ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①上記の条件に該当する症例を検索し、診療録を紙ベースおよび電子カルテから必要なデータを抽出する。 ②年齢、性別、原疾患、病歴、初診時、透析に至るまで、透析開始時、透析終了時、転院・退院時の尿量、血圧、体温、身長、体重、検査データ (BUN、Cr、Na、K、Cl、Ca、P、Alb、CRP、血算、検尿一般、尿中Cr、蛋白、Na、腫瘍マーカー (PSA)、投与薬剤 (利尿剤、降圧薬)、透析の回数、時間 ③当院腎臓内科医師 ④小林伸暉
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属腎臓内科 氏名 安藤 亮一  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525